



横浜市立榎が丘小学校

TEL 045(983)1067 FAX 045(983)5284

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/enokigaoka/>

学校は、人と関わり成長する場

校長 安東 光

朝夕のさわやかな涼風と虫の音に本格的な秋の訪れを感じる季節となりました。子どもたちは、10月24日（土）の運動会に向けてそれぞれの演技の練習に一生懸命に励んでいます。仮グラウンドや体育館、各フロアの多目的室で行われている練習の様子を見ると初めはうまくできなかった動きも練習を重ねる度に上手になり、子どもたち1人ひとりの大きな成長を感じます。昨年度の運動会は、雨天のため青葉台中学校のグラウンドをお借りして実施することができず大変残念な思いをしました。今年こそ天候に恵まれて子どもたち一人ひとりが練習の成果を発揮して輝く姿をより多くの方たちに見ていただけることを切に願っています。

同じ年齢層の子どもたちが集い、共に学び生活する「学校」という環境は、特別で社会人になった後に同年代だけで過ごすということはまずありません。この学校での学びで大切なことは、「多様な人とのより良いかかわり方を学ぶこと」と「他の同年代の人たちと自分を比較して自分自身を知ること」だと思います。多様な考え、価値観、個性に子どものうちにたくさん触れることは、自分自身の考えや視野を広げることに繋がります。大勢の人が集まれば、気の合う人、苦手な人がいるのは自然なことです。そんな環境でも「苦手な人といかに上手に関わるかが自分の磨きどころ」と前向きにとらえること。また、「過去と他人は変えられないが、未来と自分は変えられる」という言葉も私自身が様々な人と関わる時に意識し、大切にしている言葉です。苦手な相手のことを自分の思い通りにコントロールしようと思うことこそ身勝手なエゴで、相手を変えようとするのではなく自分自身の相手に対する接し方、言動、考え方を柔軟に変えていけるようになることが大切だという考え方です。私自身、まだまだできていないことが多く日々反省ですが、この考え方は、学校教育や家庭での子育て、そして大人同士のかわり方にも通じるものがあると思います。

また、現在は、人と比較したり優劣をつけたりすることを好ましくないと考える風潮がありますが、同年代のより多くの仲間と比較することで自分の「長所」と「短所」を知ることができます。自分よりも優れた人がたくさんいるということにも気づきます。多くの仲間と関わることで互いに高め合い、成長することができるのが学校教育のすばらしさです。

運動会では、我が子だけでなく1年生から6年生まで全ての子どもたちのがんばる姿、成長ぶりをご覧になって暖かい声援を送っていただきたいと思います。今年の運動会が子どもたちとご家族の皆さんにとってすてきな1日となりますように。